

成長を感じた立山登山

6年生担任 藤井 千秋

小学校生活最後の宿泊学習である立山登山が、7月30・31日に行われ、学年の目標通り「51人全員で登頂」することができました。

1日目の弥陀ヶ原、室堂散策は、あいにくの雨。雨具を着用しての歩行は足取りも重く、気分も下がりっぱなしでしたが、特別天然記念物のライチョウを見つけたときは大喜びでした。

2日目いよいよ登頂日。天候にも恵まれ、みんな元気に室堂ターミナルを出発しました。目指す雄山やそれに連なる大汝山等の美しい景色を眺めながら一の越までの遊歩道を時々雪渓も歩きながら進みました。一の越からは本格的な登山、しかも岩登りと言ってもよいほどの険しさです。子供たちは、「大丈夫?」「あと少し、がんばろう!」など友達と声を掛け合いながら登っていきました。そして、見事に全員登頂成功。満面の笑みで記念写真を撮りました。下りは怖さが先に立ち、ややペースは落ちましたが、何とか全員下りてくることができました。室堂ターミナルでは、家族へのお土産タイムと玉殿の湧水汲みを楽しみ、帰路に就くことができました。



「なぜ、6年生で立山に登るのでしょうか」事前学習で子供たちに問いかけました。「朝マラソンの成果を試すため」「6年生の思い出にするため」「富山県を代表する山だから」など様々な答えが返ってきました。「その答えを立山で見付けよう」と投げかけてその時間を終えました。

さて、登山を終えた子供たちにもう一度同じ質問をしてみました。

- ・今まで体を鍛え、最後まであきらめない心を育んできた成果を試すため。
- ・中学校に向けて、力を付けるため。
- ・立山の素晴らしさを学ぶため。
- ・みんなと助け合って仲間の大切さを知るため。
- ・自分を高めるため。

素敵な答えが返ってきたことを本当にうれしく、頼もしく思いました。大自然の中で、仲間と思いを一つにして困難を乗り越えた子供たちの姿に、大きな成長を感じた立山登山になりました。

4年宿泊学習を終えて

4年生担任 大井 公己子

8月25日・26日に、4年生の宿泊学習がありました。台風が近づいていたために天候が心配でしたが、子供たちの想いが届いたのか予定通り全ての日程を終えることができました。

今回の宿泊学習は、二上浄化センターで下水道の仕組みを学び、二上まなび交流館で追跡ハイキングやキャンドルサービス、野外炊飯などを行いました。追跡ハイキングでは、4km以上のコースを班の仲間と共に歩きました。5つあるチェックポイントには、それぞれ問題が書いてある手紙が隠されており、班で助け合いながら解答していく姿が印象的でした。高低差のある山道で「疲れた」「もう無理、限界」と言いながらも、42人全員が無事にゴールできたのは、同じ班の仲間の支えがあったからだと思います。



4年生にとっては初めての宿泊学習でしたが、家から離れた環境の中、友達と協力して過ごしたこの二日間を通して、子供たちは大きな達成感と自信を得ることができたのではないのでしょうか。

4年生は良いところをたくさんもっています。友達を思いやる優しい気持ち。仲良く遊べる一体感。しっかり話を聞こうとする姿勢。様々ある中でも特に光るのは、素直さです。言われたことを柔軟に受け止められるのが、4年生の素敵なところですよ。

今年度で十歳。二十歳を大人になる節目と捉えると、その折り返し地点にきています。情報が錯綜する今の社会で一人の人間として自立していくには、自分と違った考え方を学び、自分の考えと比較してより良い考えをつくっていかねばなりません。今回の宿泊で得た自信や長所である素直さを基に、今後も伸びやかに成長して欲しいと願っています。

